

## 大雪山の火山活動解説資料（平成29年 4 月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気などの表面現象の状況（図 1-①、図 2～6）

17 日に国土交通省北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の状況に特段の変化はありませんでした。

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上 100m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

#### ・地震及び微動の発生状況（図 1-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

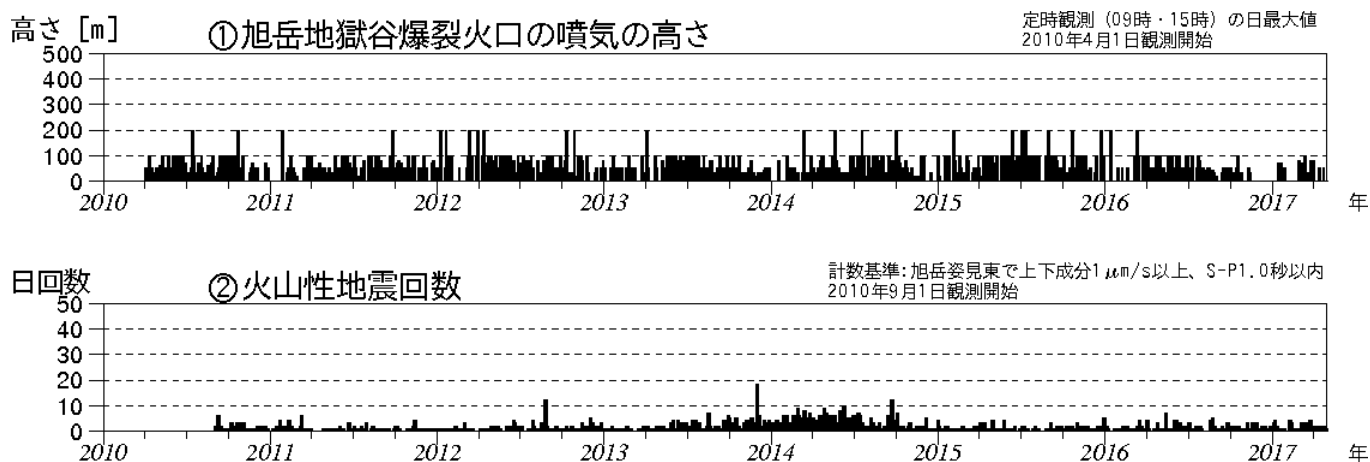


図 1 大雪山 火山活動経過図（2010年 4 月～2017年 4 月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。また、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平26情複、第658号）

次回の火山活動解説資料（平成29年 5 月分）は平成29年 6 月 8 日に発表する予定です。



図2 大雪山 旭岳地獄谷爆裂火口全景  
図5中の①から撮影

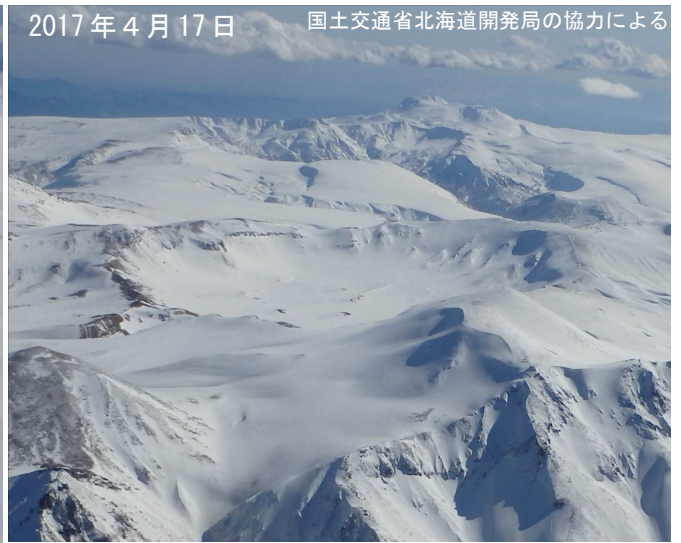


図3 大雪山 御鉢平の状況  
図5中の②から撮影



図4 大雪山 旭岳地獄谷爆裂火口 I噴気孔周辺の状況  
左：図5中の③から撮影 右：図5中の④から撮影  
・噴気の状態に特段の変化はありませんでした。

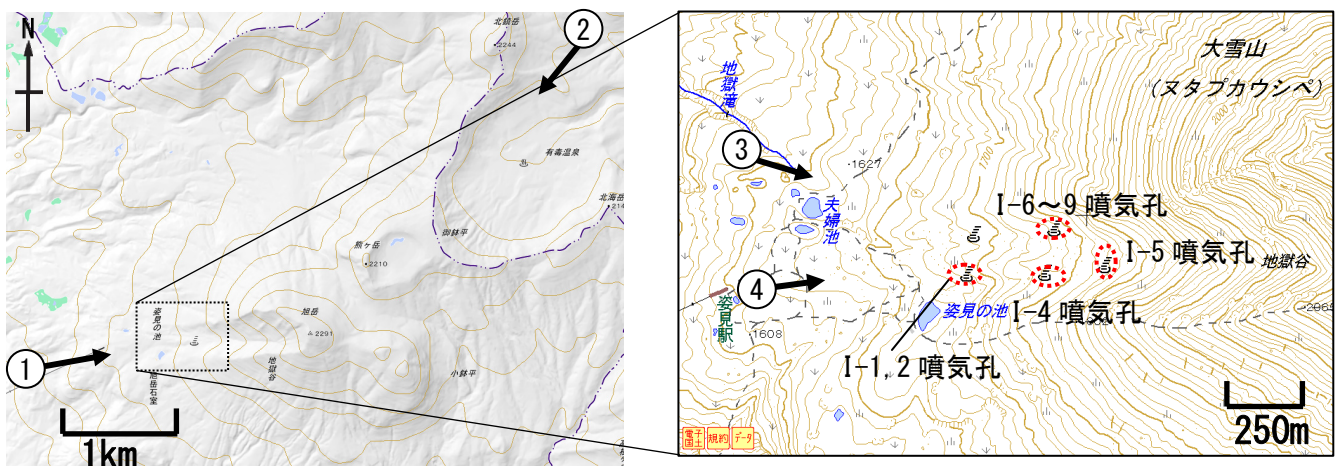


図5 大雪山 写真の撮影方向



図6 大雪山 西側から見た旭岳の状況（4月17日、忠別湖東監視カメラによる）

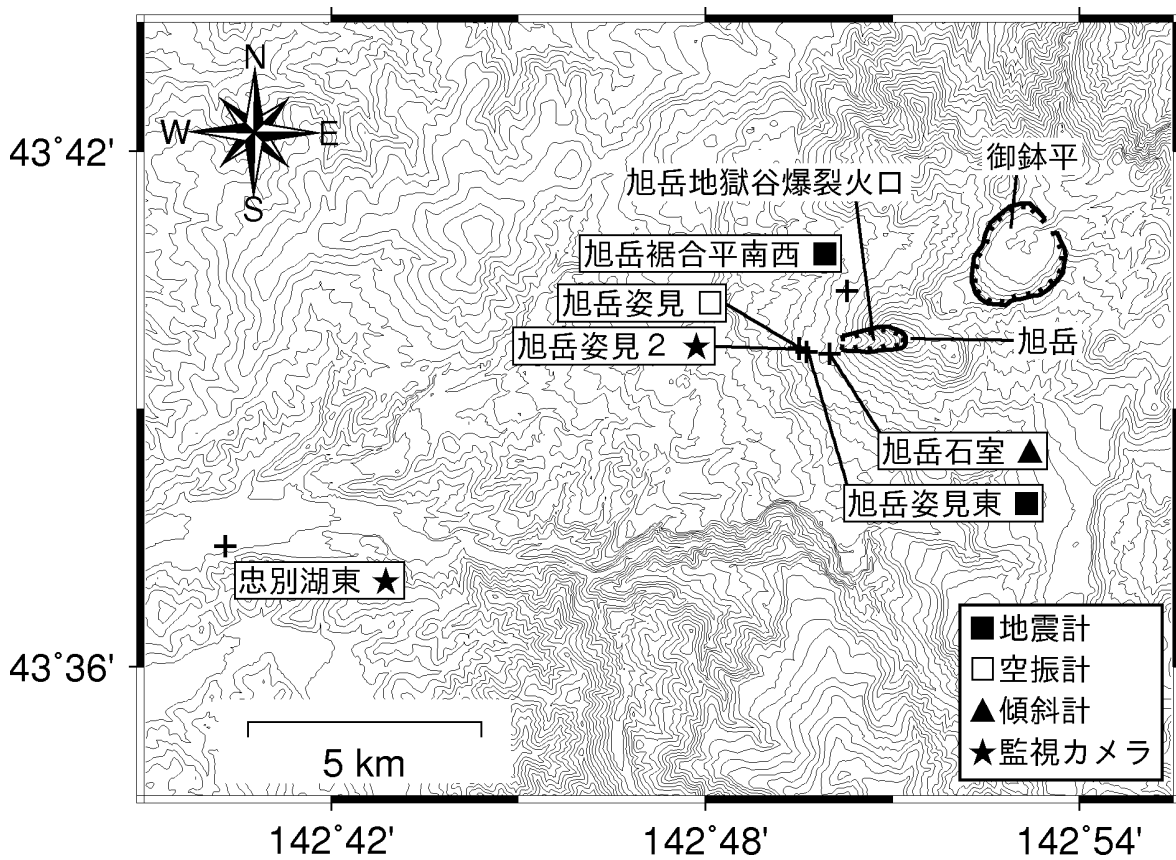


図7 大雪山 観測点配置図  
+印は観測点の位置を示します